

トレチノイン水性ゲルを用いた治療について

トレチノイン水性ゲルはビタミンAの生物活性を持つトレチノインを配合した院内製剤で、皮膚のシミを取るお薬として使用されます。また、長年の日光による皮膚老化でおこる小さなしわの改善も期待できます。その一方でビタミンAの生物活性特有の注意点もありますので、以下の点をよくご理解の上御使用下さい。

皮膚がむけ、赤くなってきたら(治療開始2～3日後)

この治療をはじめてから、通常、1日は何事も起こりません。ところが、**2、3日ほど経つと、塗ったところとその周辺の皮膚がポロポロとむけ、赤くなってきます。**顔を洗うときも、ヒリヒリすることがあります。この反応は、トレチノイン治療には必ず伴う反応です。また、本治療を中止すれば、徐々に回復します。**皮は無理にむかず、自然にはがれるのを待ってください。**顔の部分によって反応に差があります(口のまわり(少々ついただいでも反応が起こります)、目のまわりは反応が強く出やすいです)。このように皮膚がむけ始めましたら、次のことに注意してください。

1) **保湿ケア**：トレチノイン治療中は、皮膚の角質層がはがれますので、皮膚のバリアー機能や水分保持機能がなくなっています。治療部位では水分がどんどん蒸発して、皮膚が乾いて突っ張ったりします。また、バリアー機能がないため、いろんな刺激や外敵から皮膚を守るために皮膚を保護する必要があります。担当医の指示に従い、**適切なスキンケア**を行ってください。

2) **紫外線のケア**：トレチノイン使用中は、紫外線の影響を非常に受けやすい状態になっています。従って、紫外線のケアが悪いと **かえってしみを呼ぶことになってしまいます。**担当医の指示に従い、適切な紫外線ケアを使用しましょう。**刺激の少ないサンスクリーン(紫外線吸収剤が入っていない製品)や遮光用ファンデーション**などを使用します。特に汗をかく季節には紫外線ケアがおろそかになりやすいです。日中は頻繁に気を配るようにして下さい。

副作用として、**皮膚の炎症(かゆみ、赤み、ヒリヒリ感)、びらん、色素沈着の可能性**があります。それ以外にも以下の症状が出た場合には濃度が肌質とくらべて濃い可能性がありますので、いったん中止の上早めに担当医にご相談ください。

- *痛みが強すぎる。
- *所々血がにじんでいる。
- *数箇所ひどくしみるところがある。
- *赤くなりすぎる。

逆に1週間使ってもまったく赤くならない場合、濃度が肌質に合っていない可能性があります。はやめに担当医にご相談ください。

これから妊娠される予定のある方へ

胎児の奇形可能性がありますので、妊婦、妊娠の可能性のある婦人又は産婦は使用しないでください。また、妊娠する可能性のある婦人は使用後3ヶ月の避妊が必要です。

薬についての一般的な注意

薬は必ず冷蔵庫など15℃以下の場所に保存してください。

皮膚に擦り傷、切り傷、湿疹があるところ、眼の際、唇、小鼻(粘膜に近いところ)は塗布を避けてください。目に入った場合はすぐに水で洗い流して下さい。